

～たすけあい・ささえあい・わかちあい～

生協10の基本ケア ～知って安心 学んで安心～

「自分が住んでいた家に最期まで住む」というのは当然の権利です。「10の基本ケア」を介護の合言葉にして、みんなが普段の暮らしの中に取り入れられるよう地域でひろめていきましょう。

基本ケア6 座って会話をする

「座って会話をする」とありますが、隣に座っていてもただ形式的に横に座っているだけでは何の意味もありません。

気持ちがその「人」を見ていなければ認知症の人を落ち着かせることはできません。

本人に関心を持ち、本人の話や言葉を引き出すように会話する事が重要です。

認知症ケアは「認知症の人がこれまで通り自宅で環境を変えずに暮らせるようサポートすること」になります。認知症の人を無視して作業をテキパキする事が、徘徊や不穏のきっかけを作ります。また、認知症の人は、音を選択する機能が壊れるので音を選べません。日常生活音が騒音となるので「音」に配慮する必要があります。

認知症の人への理解や受け止め方によって、認知症の人の生活は左右されます。認知症になっても自宅で安心して暮らし続けられるよう、元気な時から地域コミュニティへの参加や、「お互い様」といえる関係性を作ることがとても大切です。



社福)協同福祉会

「認知症サポーター」知っていますか？

みなさん、「認知症サポーター」をご存じですか。認知症サポーターは何か特別なことをする人ではありません。認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族を温かい目で見守る「応援者」です。

私達、福祉子育て活動推進委員も、3月29日(火)に奈良市認知症地域支援推進員(三原由紀氏)を講師に、初めてオンラインによる「認知症サポーター養成講座」を開催し、参加いたしました。

認知症を正しく理解し、認知症の人や家族のよき理解者、温かく見守る応援者を養成することを目的に「奈良市認知症ケアパス ～知ってあんしん 認知症～」のお話を中心に伺いました。

参加して見ることによって、認知症の人の気持ちを学び、そこからの接し方(かかわり方)について、学ぶことができました。

今後、組合員のみなさまを対象とした認知症サポーター養成講座も開催する予定です。高齢化社会が進む今、やさしい地域作りの一環として認知症サポーターにあなたもなってみませんか？



フードドライブのお知らせ

ならコープでは、全店舗で毎月15日にフードドライブを実施しています。また、同時に文房具ドラム部も実施しています。みなさまのご協力よろしくお願いいたします。

【お預かりできる食品】

- ①常温で保存できるもの
- ②未開封のもの(箱の破れ等がないもの)
- ③賞味期限まで1ヶ月以上あるもの
- ④食品表示のあるもの

【お預かりできる文房具】

新品・未使用の文房具

おたより募集

あなたの身近な話題、伝えたいことを送って下さい。さんあい通信の感想も大募集です。

みんなでさんあい通信を盛り上げていきましょう！

抽選で10名の方におすすめ

商品をプレゼント！

おたよりは、

〒630-8043

奈良市六条2-17-6-11

ならコープ組織部小原まで☎

またメールでも受け付けています。

y.ohara@naracoop.or.jp

